

府中市立小・中学校のプール整備方針（案）に対するパブリック・コメント手続の実施結果について

1 意見の提出期間

令和7年9月15日（月）から令和7年10月14日（火）まで

2 意見の提出者数等

件数	提出者数	意見の提出方法別の人数				
		オンライン	郵送	FAX	意見投函箱	窓口
48	26	25	—	—	—	1

3 意見の概要と市の考え方

NO.	意見の概要	市の考え方
1	教員の水道閉め忘れ等のニュースから、学校でのプール管理はリスクがあると感じる。	今後作成する整備計画において、維持管理手法も含めて検討してまいります。
2	民間プールを利用できるチケットを配布するなど、学校の授業ではなく個人的に行った方が、同級生の目もなく抵抗がすくない。管理費を含め、今の時代に合っていると思う。	文部科学省が定める学習指導要領に基づき、体育科の授業の一環として「水泳」を教育課程に位置付け、適切に授業を実施することになっているため、引き続き学校の授業として水泳を行ってまいります
3	自校プールが使えなくなった場合に別の場所の屋内プールを使うとのことだが、移動にはそれなりの危険が伴う。また、自校以外の場所だと移動により授業時間が毎回削られてしまううえに、慣れない場所での水の事故のリスクもある。 不慣れた場所で気持ちが浮つき、余裕のないスケジュールによる疲れなど、子供が注意散漫になり、事故に繋がる可能性が高くなると思う。大げさなくらい時間と注意力を割くつもりで取り組んでほしい。 それが難しいのであれば、無理に水泳授業を行わなくても良い。	屋内化・集約化を検討する際は、移動や安全面のリスクについて十分に配慮した計画とします。 今後、整備計画を作成する際には、移動や安全面のリスクについて最大限に配慮した計画とします。また、授業時間については、往復の移動等に要する時間も考慮した時間割を検討してまいります。検討の際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。

4	<p>熱中症対策が難しいからプールを減らすのはおかしいと思う。 子供達が楽しみにしているプールが出来なくなるのはあってはならないと思う。</p>	<p>近年、猛暑による熱中症のリスクが高まっていることから、今後も引き続き安全に水泳授業を行うことができるよう、本方針（案）において、学校プールを屋内化・集約化するとともに、民間プールも活用することで授業に必要なプールを確保してまいります。</p>
5	<p>屋内プールにすることに対しては賛成。 コスト面の問題もあるため、各学校にというよりは近くの屋内プールに移動した方がいいかもしれない。 ただ移動のリスクや見守る先生に限られるなどの安全面の問題があると思う。 人員の問題面も考慮してほしい。</p>	<p>集約化する際は各学校の位置関係等を踏まえたうえで、最適な位置を検討してまいります。 また、移動や安全面についても配慮した計画とします。</p>
6	<p>仲間や先生と楽しむ経験をする場として屋内プールを整備してほしい。近年の暑さは異常で、それにより中止となることが多く、せっかくの機会を失われていてもったいないと感じている。 水泳授業で育んだ経験は、水遊びの事故を未然に防ぐ大切なものだと思う。 スイミングスクールに通わせるのが難しい家庭もある。 予算がかかることではあるが、屋内プールを検討してほしい。</p>	<p>いただいたご意見を参考とさせていただき、プールの屋内化に向けて、今後検討してまいります。</p>
7	<p>屋外施設を新たに改築せず、民間や既存の施設に移行することでよいと思う。熱中症対策はもちろん、教員による施設管理や指導の負担軽減にも繋がる。</p>	<p>いただいたご意見を参考とさせていただき、屋内化・集約化について検討してまいります。また、施設の管理手法については教員負担の軽減という視点も踏まえて検討してまいります。</p>
8	<p>老朽化した施設の活用も検討してほしい。防災の観点で残していくとしても、衛生管理が大変かと思われる。</p>	<p>既存屋外プールの活用につきましては、屋内化・集約化と併せて検討してまいります。</p>
9	<p>子どもたちの体力低下とならないような屋内運動施設の増設になるとよいと思う。</p>	<p>体力向上については、学校プールの屋内化・集約化に関わらず今後も引き続き継続してまいります。</p>

10	泳ぐ方法を学ぶのはライフハックスキルとして必要なため、水泳授業の継続、屋内プール整備については賛成。	いただいたご意見を参考とさせていただき、今後、学校プールの屋内化を進めてまいります。また、水泳の授業についても継続し、泳法に関する技能とともに、安全に関する知識等を習得する授業を行ってまいります。
11	改修工事未実施の屋外プールは、プールサイドの地面が高温になることが予想されるので、火傷対策はしっかりとお願いしたい。	既存校のプールの安全対策については、各学校の状況に応じて実施してまいります。
12	四谷小学校、あるいは府中第八中学校も近隣にプールがないため、屋内プールの設置検討をしてほしい。	今後作成する整備計画において、各学校の位置関係等を踏まえたうえで、最適な位置を検討してまいります。
13	屋外プールの需要は今後も低下すると思われる。維持管理にこれ以上の費用を費やすのは無駄だと思う。 屋内プールを数ヶ所設置し、土日祭日及び夜間等は一般にも有料開放すべき。 生涯学習センタープールも総合体育館の統合に向け数年使用出来なくなるようなので、早急に屋内プールの設置をお願いしたい。	一般向けの有料開放につきましても、今後検討してまいります。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
14	屋内化や民間プールの活用に賛成。 今ある学校のプール老朽化と温暖化や異常な暑さのために結局出来ない日も多く、夏休みの水泳も暑さで出来ず、その割に管理費に莫大な予算と管理する労力を必要とするため、予算に見合った成果や学習が出せていないのではないかと思う。	いただいたご意見を参考とさせていただき、学校プールの屋内化を進めてまいります。また、施設の維持管理の手法についても検討してまいります
15	酷暑が当たり前の時代。屋内プールがあっても良いと思う。1年中利用できるし、他校も利用できるのではないか。	いただいたご意見を参考とさせていただき、学校プールの屋内化を進めてまいります。また、屋内プールの設置場所については、今後作成する整備計画において、各学校の位置関係等を踏まえたうえで、最適な位置を検討してまいります。
16	屋内プールに賛成。 夏休みのプールもなくなっているが、屋内プールであれば安心して行かすことができます。	学校における夏休みの水泳指導につきましては、今後検討してまいります。

17	コスト効率に優れた屋外プールの維持・整備をするほうが、子どものためになると考えられるため、「学校プールを屋外ではなく屋内プールや民間施設へと移行する整備方針」に反対。	本市といたしましては、近年、猛暑による熱中症のリスクが高まっていることから、今後も引き続き安全に水泳授業を行うことができるよう、本方針（案）において、屋外プールは整備せずに、学校プールを屋内化・集約するとともに、民間プールも活用することで授業に必要なプールを確保していくこととしています。
18	屋外プールは各学校に設置できるため公平性が高く、児童の移動負担がなく利便性に優れている。	近年の猛暑による熱中症リスクの高まりから、今後の学校改築に当たっては屋外プールを整備しない方針としておりますが、移動手段につきましては、児童・生徒の負担とならないよう十分検討してまいります。
19	屋内プールは屋外プールと比べて費用が掛かるが、他に優先すべき案件の貴重な財源を圧迫するとともに、子どもたちに将来負担を負わせることになる。 プール整備に優先的に財源を充てる理由として他施策との比較検討を示していないことから正当性がない。	屋内プールは屋外プールと比較して大幅に費用が掛かることから、集約化することにより全体としてのコストを抑制するよう検討してまいります。
20	民間施設での水泳授業に対する評価において「よかった」という回答があるが、従来と比較した結果ではなく、屋内化や民間でないといけないものでもない。 保護者アンケートにおいても屋内化すべきとの回答が多数だが、他の施策との比較検討がなければ屋内プールの方が良いに決まっている。	本市といたしましては、近年、猛暑による熱中症のリスクが高まっていることから、今後も引き続き安全に水泳授業を行うことができるよう、本方針（案）において、学校プールを屋内化・集約するとともに、民間プールも活用することで授業に必要なプールを確保していくこととしています。なお、アンケートにつきましては、参考資料としてお示ししているものでございます。
21	猛暑リスクを屋内化の理由としているが、水泳授業の実施時期を大幅に変更して涼しい時期に実施すれば屋外プールでも十分に安全を確保できる。	水泳授業の開催時期については、すでに開始時期を早めるなどの対策をとっているところですが、今後、より一層安定的な水泳授業の実施を図ることを目的として、屋内プールを整備することとしております。

2 2	<p>プールの維持管理は教育活動に付随する正規の業務と位置付けるべきであり、教員負担軽減は屋内化の理由とすべきでない。</p>	<p>プールの維持管理には水質調整や設備点検など多くの作業を継続的に行う必要があり、時間を要することから、その時間を削減することで、その他の教育活動に従事することができるため、有効な手段であると捉えています。</p>
2 3	<p>次期改築実施校である府中第五小学校及び府中第九小学校の改築事業については、屋外プールを前提に検討すべき。</p>	<p>本市といたしましては、近年、猛暑による熱中症のリスクが高まっていることから、今後も引き続き安全に水泳授業を行うことができるよう、本方針（案）において、屋外プールは整備せずに、学校プールを屋内化・集約するとともに、民間プールも活用することで授業に必要なプールを確保していくこととしています。今後作成する整備計画の中で具体的な検討を行ってまいります。</p>
2 4	<p>来年、子どもが小学校に入学予定。 入学前に校庭からプールを見たが、全体的に古く、フェンスや手すりの劣化など危ない印象を受けた。 夏場は外気温との関係でプール実施が困難なことも聞く。 水泳授業が安全に、円滑に実施できるよう改善してほしい。 予算の関係もあるかと思うが、屋内プールの整備、プール敷地内の更衣室設置が望ましいと思う。</p>	<p>既存プールの劣化につきましては、必要に応じて修繕を行うなど、児童・生徒の水泳授業が安全・円滑に実施できるよう、各学校の劣化の状況に応じて取り組んでまいります。</p>
2 5	<p>プールまでの移動手段や部活動(水泳部)の進め方などが気になる。</p>	<p>移動手段や部活動への対応については、活動に支障が出ないよう、今後検討してまいります。</p>
2 6	<p>「屋内プールを整備しないこととする」のは具体的な整備計画を策定してから判断すべきではないか。 整備計画の内容によっては屋外プールを延命させる必要のある学校も出てくる可能性がある。</p>	<p>本方針を定めたのちに、具体的な整備計画を策定することとしており、既存の屋外プールの引き続きの活用についても、当該整備計画に位置付ける予定です。</p>

27	<p>プール施設の整備費用から全校屋内化が困難であれば、「公共屋内プールの活用」、「民間屋内プールの活用」、「特定複数校に屋内プールを新設して共同活用」、「公共屋内プールを増設」などが考えられる。短・中期策、長期策をそれぞれ検討する必要がある。</p> <p>特に、公共屋内プール及び民間屋内プールの活用を早急に検討する必要があるが、公共屋内プール及び民間屋内プールの活用は、府中市内だけではなく、隣接市も含めて活用場所の検討をしてはどうか。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえて、具体的な整備計画において、屋内化に向けて検討を進めてまいります。</p> <p>公共屋内プール及び民間屋内プールの活用については、府中市内に限らず近隣市の施設も含めて検討してまいります。</p>
28	<p>新たな屋内拠点プールの整備を検討するとあるが、これは新総合体育館以外に公共屋内プールを増設するという考えでよいか。</p>	<p>新たな公共屋内プールの整備については、新総合体育館の整備内容も踏まえ、必要に応じて検討してまいります。</p>
29	<p>年間を通して水泳の指導は必要だと思う。水泳をする事で心身共に様々な影響がある事から屋内化して安定して指導できる環境をつくってもらいたい。</p>	<p>いただいたご意見を参考とさせていただき、プールを屋内化することで安定して水泳授業を実施できる環境づくりを進めてまいります。</p>
30	<p>地域で使用できるようなプールをつくってもらいたい。民間プールを利用しても良いと思う。</p>	<p>一般開放については、今後検討してまいります。</p>
31	<p>プールサイドに日陰を作りこれまでよりもプール内にいる時間を短くするなどの対応策が考えられるが、そうした対策は既に講じているか。</p>	<p>既存の屋外プールについては、既にテント設置など学校ごとに対策を講じています。</p>
32	<p>校外のプールを活用する場合、徒歩か、場合によってはバスに乗っていくケースも出るかと思う。</p> <p>往復の時間や、交通事故など各種の危険性にも配慮する必要がある。</p> <p>児童を暑い中で歩かせることは逆にリスクを高める。</p> <p>市営バスや民営バスの利用も難しいと思う。</p>	<p>移動手段につきましては、児童・生徒の負担とならないよう十分検討してまいります。</p>
33	<p>民間プールを活用する場合、一般の利用者との共用になると考えられるため、水泳授業を円滑に行なうことは困難ではないか。</p>	<p>民間プールを活用する場合は、一般利用者と学校利用で相互に支障とならないよう、民間プール事業者と十分な調整を行ったうえで実施してまいります。</p>

34	府中市公共施設マネジメント推進プランでは、屋外公共プールの集約化を進めている。 公共施設マネジメント推進プランなどと整合を図ってほしい。	公共施設マネジメントの考えを踏まえ、関係部署とも十分に調整しながら整合を図ってまいります。
35	今回の学校プール整備方針案は教員の水泳を授業で教える能力が不足することにより、今後またはすでに運用が困難になるのではないかと。その場合、別の切り口で対応策を考える必要がある。	水泳は学習指導要領に明確に位置付けられている教育内容であり、学校教育の一環として行われているところですが、今後とも水泳授業を安定的に実施できるよう取り組んでまいります。
36	他の地域では暑さ対策をどのようにしているのか、費用はどのくらいなのかを聞くと良いと思う。	他自治体の事例も参考にしながら検討してまいります。
37	屋内化するのなら通年通して使えるような立派なものにするのか、ビニールハウスのような簡易的なもので日差しを遮れるのか分からないが、そういったものにするのかによっても意見が変わってくるのではないかとと思う。	屋内プールの機能等については、利用可能期間やコスト面に大きく関わることから、十分に比較検討したうえで進めてまいります。
38	暑さも大変だが、水泳の授業が出来る環境を作ってほしい。 暑さは怖い、暑さで運動の機会が失われるはもっと怖い結果が生まれる。 運動の機会を減らさないようお願いしたい。	水泳授業を安定的に実施できるよう取り組んでまいります。
39	屋外プールから屋内プールへの移行の方針に賛成。 ただし、費用面や屋内化に要する期間などについては課題もあると思う。 子どもたちに平等に、また恒常的に、学習の機会が与えられることを希望する。学校により学習機会の偏りが生じることのないよう検討してほしい。 公設が難しいのであれば民間プール施設を誘致したり、屋内プールで通年で学習を行うなど、少しでも子どもたちの学びの機会が確保されるよう計画を進めてほしい。	子どもたちの学習機会を十分に確保したうえで、学習機会に差が生じないよう配慮して進めてまいります。検討の際にはいただいたご意見を参考とさせていただきます。

4 0	屋内化・集約化をする場合、市の中心部だけでなく東西にも1か所ずつ屋内プールを整備するなど、市全体をカバーするようにしてほしい。	屋内プールの設置場所については、各学校の位置関係等を踏まえたうえで、最適な位置を検討してまいります。
4 1	府中第七小学校と武蔵台小学校、府中第七中学校と府中第十中学校の統合や改築に合わせて、武蔵台プールの跡地などに屋内プールの新設を検討してほしい。	屋内プールの設置場所については、各学校の位置関係等を踏まえたうえで、最適な位置を検討してまいります。
4 2	学校が使用しない期間や時間帯は、市民にも開放していただけるような屋内プール施設があると嬉しい。	一般開放については、今後検討してまいります。
4 3	市の整備方針に賛同。最低でも小学生のうちには水泳の授業をきちんとした指導者のもとですべき。 民間に頼ることも良いと思うが、今後も続くとは限らないことから、通年利用できる屋内プール（多様な学年が使うことを考えれば可動床であることが望ましい）を1カ所ないし2カ所整備し、夜間は一般利用もできる運用が望ましいと思う。	屋内化・集約化に当たっては、各学校の位置関係等を踏まえたうえで、最適な位置を検討してまいります。 また、一般開放の可能性についても、併せて検討してまいります。 屋内プールの設置場所については、各学校の位置関係等を踏まえたうえで、最適な位置を検討してまいります。また、一般開放についても、併せて検討してまいります。
4 4	屋内プールのライフサイクルコストは屋外プールよりも掛かるが、施設数を減らすことができればメリットの方が大きくなるのか、バス移動にはそれほどコストがかからないのか。	屋内化による学習環境面のメリットは大きい一方、屋内プールに比べるとライフサイクルコストが増大するため、適正な施設数に集約化することでコスト面での課題も解消できるものと捉えています。 また、バス移動を想定する場合は相応のコストが掛かるものと考えています。
4 5	教員が見守り、インストラクターが水泳指導を担当するほうがよりよい教育効果を見込めると思う。	水泳は学習指導要領に明確に位置付けられている教育内容であり、学校教育の一環として行われているため、本市では教員が指導しており、民間プールを活用する際も同様の形式で授業を行う予定です。

46	近隣の私立の学校（幼・小・中・高・大）が所有している屋内プールを貸してもらうのはどうか。	屋内化に当たっては、近隣の私立学校等との連携の可能性も含めて検討してまいります。
47	民間プールを活用する場合、教員と民間インストラクターと一緒に指導するのが良いと思う。	水泳は学習指導要領に明確に位置付けられている教育内容であり、学校教育の一環として行われているため、本市では教員が指導しており、民間プールを活用する際も同様の形式で授業を行う予定です。インストラクター教員の指導を補助する立場で関わることを望ましいと考えております。
48	屋内プールに移行することに賛成だが、施設を長く利用することができるよう、メンテナンスがしやすい設備にすることがポイントであると考えてる。	屋内プールを整備する場合は、維持管理のしやすさやランニングコスト等も考慮して整備します。